

まちづくり出前講座 「越中福岡の菅笠づくりの歴史」



8月21日(金)高岡市立野村公民館で、まちづくり出前講座「越中福岡の菅笠づくりの歴史」が行われ、城山孝会長が講師を務めました。

実際の菅草・天日干し後の菅草・菅笠などを展示し、映像記録「越中福岡の菅笠製作技術」(DVD)を放映後、城山会長から菅笠の起源・産業化・保存会の取り組みなどを説明しました。

受講者は、「実家が国吉で、菅笠づくりを見て育った。記録映像の笠縫い道具入れの「かさぼんこ」

を見て、とても懐かしく思った」「初めて菅草を見た。天日干しの後、菅笠が作られることを初めて知った」と、菅笠の事を思い出して頂けたり、知ってもらう機会ができました。今後もこのような活動を続けていきたいです。



取材協力ありがとうございました！

◆「TBSテレビ「ふるさとの夢」

- ・9月10日(日)放送
- ・刈り取り…宮崎光子さん菅田にて、ボランティアによる刈り取り
- ・笠骨づくり…中嶋尋之さん宅工房
- ・笠縫い…福岡庁舎 笠縫い講座、講師と受講者の皆様



◆チューリップテレ「ミタイノコレクション」

- ・12月16日(土)放送
- ・菅田…城山孝会長の菅田
- ・笠骨…中嶋尋之さん宅工房
- ・笠縫い…福岡庁舎実演スペースにて、松平カツミさん実演



◆NHK「ニュース富山人」

- ・12月12日(火)生放送
- ・笠縫い…城山孝会長宅にて、城山ミキさん・越後喜代さん・増山直美事務局員が実演、城山会長が菅笠の説明



★取材に協力してくださいました皆様に感謝いたします。これからもよろしくお願いいたします。

※写真は全て、TBSテレビ「ふるさとの夢」取材風景



干支・スゲ成づくり教室

12月2日(土)とやま・ふくおか家族旅行村 ロッジ山ぼうしで、「干支スゲづくり教室」を行い、講師の菅っこメイトの大道悦子さん・永田厚子さん・山岸朝子さんが11名に指導しました。

平成30年度の干支は戌。卵型の発砲スチロールにスゲを両面テープで貼り付け、胴体・尾・耳を表現しました。肝心なのは、瞳！位置を決めて思い切って目打ちで穴をあけ、ボタンを入れたら、かわいい戌の完成です。

教室の後は昼食を取り、ゆったりと山ぼうし温泉に浸かって、日頃の疲れを癒しました。



初！新高岡駅で菅笠展示

10月27日(金)～11月9日(木)、新高岡駅飛越能PR展示の一環として「越中福岡の菅笠」の展示を、新高岡駅一階通路で行いました。

農作業などで良く使われる富士笠、高岡御車山祭で山役員が被る一文字笠、ポスターなどを展示しました。



福岡小学校 スゲ栽培活動

◆「バケツスゲ 芽かき」

4月28日(金)、福岡小学校で小学5年生が、会員の大島清次さんの指導で、バケツ菅の芽かき作業を行いました。

思わず全部引っこ抜いてしまい、そっと戻してみたり、プロ顔負けの思いきりよく芽かきが出来た児童…。菅と触れ合う様子がとてもほほえましかったです。



4/28 芽かき



7/20 刈り取り



7/20 刈り取り



7/20 刈り取り

◆「学校田 刈り取り」

とても暑い7月20日(木)、汗が流れおちる中、5年生の児童113名が長袖長ズボンで、学校菅田の刈り取り作業を行いました。指導はSUGETが行い、NPO法人グリーンツーリズムと保存会事務局もお手伝い。

日差しが強いこんな日は、菅笠が活躍します。テレビの取材もあり、カメラマンさんにも菅笠を貸出し、福岡町らしい風物詩となりました。

◆「学校田 苗植え」

10月8日(日)、4年生の児童とその兄弟姉妹25名が、SUGETとボランティアの指導で菅苗植えを行いました。

コロガシで植える目星をつけて、斜め45度に苗を植え付けます。足場が悪いので裸足で頑張りました。

理事会・総会



「理事会」

5月31日(水)福岡庁舎4階会議室で、平成29年度第1回理事会を行い、各講座研修生の今後の自立支援などを協議しました。



「総会」

6月16日(木)Uホール イベントホールで「越中福岡の菅笠製作技術保存会 総会」が開催されました。55名が出席し(委任状106名)、福岡町観光協会に、まちながしの菅笠を研修生が製作し寄贈することなどを協議しました(関連記事:3ページ上部)。

高齢化が進み、スゲ栽培やスゲを干す生産者が減っているという発言もあり、若い人を育てこれ以上生産を減らさないよう、会員はじめ皆さんにご協力をお願いしました。



「越中福岡の菅笠」 国の伝統的工芸品に指定



越中福岡の菅笠振興会
右から高田哲会長・中央…城山孝副会長、左…村本孝義副会長
福岡庁舎 菅笠ミュージアムにて

11月30日(木)、「越中福岡の菅笠」が、国が定める伝統的工芸品に指定されました。富山県内では29年ぶりの指定で、高岡銅器・井波彫刻・高岡漆器・庄川挽物木地・越中和紙に続き6品目です。

菅笠づくりに携わる製造事業者等が3月に設立した「越中福岡の菅笠振興会(高田哲会長)」が、指定に向けて活動してきました。

指定の効果として、基準を満たした製品に国指定であることを証明する「伝統マーク」を貼付する事ができ、ブランドイメージの向上が期待できます。今後は振興会が主体となって、販路拡大や新商品開発など、新しい挑戦を進めていけます。